

2025年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（11月19日）

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。 →→ [URL](#)

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。 →→ [URL](#)

民間奨学金申請要領 返還支援事業



○募集要項の請求先について
「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。
各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

奨学金 種別	奨 学 団 体 等	必 要 資 格	他 奨学金 との重複	対 象 学 年	金 額	給付・貸与 の別	募 集 人 員 (全国で)	募集要項の ＜請 求 先＞	申請書類の ＜提 出 先＞	提出期限
直接 応募型	一般財団法人 鎌田記念財団	物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり次のいずれにも該当する者 (1)日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者 (2)将来社会的に有益な活動を目指す者 (3)学業成績が優秀であること ・在校生の場合、大学・専門学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上であること ・新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること ・高等学校卒業程度認定試験の合格者であること (4)下記のような物流・ロジスティクスに関する科目を履修できる学部・学科に在籍していること	記載なし	2025年11月1日時点で 学部生・大学院生	年額36万円	給付	27名 (上限)	鎌田記念財団事務局	一般財団法人 鎌田記念財団	11月30日(月) (必着) 【期間延長】
推薦枠型	令和8年度 JEES・馬場財団国際理解教育人材養成 奨学金	海外留学のための奨学金です。学内のみの周知に限定されているため、以下moodleへログインして募集要項等を確認してください。						大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	12月12日(金)
直接 応募型	公益財団法人 岩谷直治記念財団	(1)日本国籍を有する者 (2))2026年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 (3)自然科学系および関連する学際分野を専攻している者 ＜応募資格に該当する自然科学系および関連する学際分野＞ 工学、理学および農学の全般、ただし医学、薬学は除く (4)2026年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 (5)2026年4月以降、他機関からの奨学金や研究支援金等を受けない者 (但し、大学からの月額10万円未満の奨学金は除く) (6)学位取得にあたり、経済的支援を必要とする者 (7)奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通して出席し、奨学生としての義務を果たせる者 (8)奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者 (9)奨学金支給終了後も当財団との関係を継続する意思のある者 (10)国際交流と親善を積極的に行う者	不可 (但し、大学からの月額10万円未満の奨学金は除く)	2026年4月1日現在において 大学院生(修士・博士課程)	月額:15万円 (給付期間:2026年4月時点で在籍している課程の標準年限までの最長2年間)	給付	5～10名程度	岩谷日本人大学院生奨学助成	岩谷日本人大学院奨学助成	12月1日(月)～ 12月20日(土)
直接 応募型	公益財団法人 日本通運育英会 2026年度奨学生	以下のA～Dの各項いずれにも該当する者 A 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害(＊1)を負った方。 あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(＊2) (＊1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。 1. 障害手帳1～4級 2. 精神障害者手帳1～3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の1～7級 (＊2)学生本人の場合は、上記(＊1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象となる。 B 2026年4月現在、18歳以上21歳以下の者 C A項を原因として、経済的に就学が困難であると認められる方。 D 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	可	学部生 (2026年4月1日現在)	月額 3万円 (年額:36万円) 給付期間:最短修業年限	給付	全国で20名	日本通運育英会奨学資金	日本通運育英会 (4/ 17(金)16:00までに、推薦以外の提出書類一式を作成の うえ、学生支援チーム①番窓口持参し、推薦書作成を依頼すること)	4月1日(水)～ 5月15日(金) (事務局必着)
直接 応募型	一般財団法人 長嶺財団	①沖縄県に縁のある者(本人または保護者が沖縄県に住民票を有する者 ②国内の専門学校・大学・大学院に在籍する日本国籍の学生 ③経済的理由により修学の継続が困難な者 ④将来社会に有益な活動を目指す者 ⑤学業成績が優秀な者(GPA2.4以上)	可	2025年11月1日時点で 学部生・大学院生 *最終学年は除く	月額3万円 (給付期間:R8年1月～12月)	給付	最大8名 (予定)	一般財団法人 長嶺財団	一般財団法人 長嶺財団事務局	11月10日(月)～ 12月26日(金) (必着)
推薦枠型	令和8年度 JEES・仙石知子SEWS奨学金	学内のみの周知に限定されているため、以下moodleへログインして募集要項等を確認してください。 https://lms-m41.mie-u.ac.jp/course/view.php?id=3917						大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	12月12日(金)

奨学金 種別	奨 学 団 体 等	必 要 資 格	他 奨学金 との重複	対 象 学 年	金 額	給付・貸与 の別	募 集 人 員 (全国で)	募集要項 の ＜請 求 先＞	申請書類 の ＜提 出 先＞	提出期限
直接 応募型	2026年度給付型奨学金 一般財団法人 荒井芳男記念財団	(1)2025年4月1日現在において、日本の4年制大学の1年生以上に在籍する大学生である者 (現時点で大学院生は除く) 2026年4月1日から大学院へ進学される方は基本的に応募不可(応募人数により、低所得者の救済措置として応募を許可する場合あり) 2026年4月1日から就職される場合、応募不可 (2)学部、学科は機械系、工学系、化学系、電気系である者(生命化学、生物科学、薬学等は除く) (3)2025年4月1日現在で、23歳以下である者 (4)2025年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する者 (5)最短修業年限にて卒業の見込みがある者 (6)過去に当財団の奨学金または研究助成金を受給していない者(支給は一度限り) (7)当財団の奨学生ではない者 (8)学業優秀であり、品行方正である者 (9)経済的支援を必要とする者(両親不在、母子家庭、他経済的な理由によりが学費の支弁が困難である世帯等) (10)当財団が定める報告書を期日までに提出できる者	可	2025年4月1日現在において工学部1年生以上の学部生(機械系、工学系、化学系、電気系に限る)	年間20万円	給付	35名程度	一般財団法人 荒井芳男記念財団	一般財団法人 荒井芳男記念財団	12月19日 (当日消印有効)
直接 応募型	2026年度 一般財団法人TCS奨学会	(1)日本国内に居住し、日本国籍を有していること。 (2)学部、修士課程に2025年度に在学しており2026年4月時点で学部2～4年生又は修士課程1,2年生に進学・進級見込みであること。 (3)最短修業年限で卒業見込みであること。 (4)修得単位数が標準単位数以上で、直近の学業成績につきGPA(平均成績)が 3.3 以上であること。 (5)学修計画書の提出により、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って大学等における学習意欲を有していることが確認できること。 (6)本財団が企画する行事(懇親会【5月頃】)への参加に協力することができること。 * 世帯の所得水準及び他の給付型奨学金受給の有無に関する制限はないが審査基準事項の一部となる。	制限はない が審査基準事項の一部となる	2025年年度に在学しており学部2年～4年生または、大学院1～2年生に進級見込みであること(2026年4月時点)	60万円(月額5万円) 支給期間:2026年4月～2027年3月までの1年間	給付	30名程度	一般財団法人 TCS奨学会	一般財団法人 TCS奨学会	10月14日～11月28日 (応募書類必着)
直接 応募型	2026年度 公益財団法人 蔵人記念財団	次の各号のすべてに該当する者 (1)応募時点において日本国籍を有している者 (2)経済的に恵まれず、修学が困難な者 * (3)親権者(又は未成年後見人)等による保証人の同意を得ている者 (4)本人及び生計を一にする家族が暴力団、暴力団関連企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者又はその構成員ではない者 (5)日本国内にある大学で農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者 *世帯年収が、目安として400万円以下(税込み)であること (兄弟姉妹多数など他の経済的理由で修学が難しい方も対象となる場合もあり)	記載なし	2026年1月1日時点で学部1年生	月額:4万円 (給付期間:1年間) 【2026年4月～】 但し、財団の審査を経て、原則として最短修業年限まで延長の可能性あり	給付	12名	公益財団法人蔵人記念財団	公益財団法人 蔵人記念財団	1月31日 (当日消印有効)
直接 応募型	一般財団法人先端教育振興機構 令和7年度先端教育奨学金	以下の①～⑥のすべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②専門職大学院に進学した新1年生であること ③2年制以上の課程に学ぶ者であること ④応募締切日時点で年齢35才以下であること ⑤経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑥就学状況及び生活状況について適時報告できること	可	専門職大学院に進学した新1年生であること	年間48万円 (10月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間	給付	10名	先端教育奨学金	一般財団法人 先端教育振興機構 事務局 奨学金事業係	10月1日～11月15日 (応募書類必着)
直接 応募型	社会福祉法人 さばうと21 2026年度 坪井一郎・仁子学生プログラム(坪井基金) 「学生支援プログラム」	①日本に定住する外国にルーツを持つ学生で、以下のaまたはbに該当する方 a) 難民とその子など、本人/親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b)原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ・既に日本国籍になった方も含む ・在留資格が「留学」の方は対象外 * 主に理系の方を優先(専攻分野の指定なし) * 大学院については、修士課程優先	可	2026年4月に大学3年生以上または、大学院在籍/進学見込みの方	大学院生:60～120万円/年 大学生:50～100万円/年	給付	15名程度	学生支援プログラム(坪井基金)	学生支援プログラム(坪井基金)	1月6日～1月31日 (応募書類必着)
大学とりまとめ型	令和8年度(第22期)奨学生 公益財団法人 アイコム電子通信工学振興財団	令和8年度に大学・大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、次の①及②のいずれかに該当する者 ①大学生は給付の時期に3年生以上であること ②大学院生は給付の時期に在学のこと *民間企業等から報酬を得る場合は応募をご遠慮ください。	可	令和8年度(2026年) 学部:3・4年生 大学院:1・2年生	月額:5万円 (給付期間:1年間)	給付	90名予定 (全国) * 予算の関係で変更の場合有	アイコム電子通信工学振興財団(奨学生)	(12/12 16:00までに提出書類一式とともに推薦書作成を学生支援チーム①窓口へ依頼をすること)	2026年1月5日(月)～1月19日(月) (1月19日消印有効)
直接 応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	マイベスト奨学金	マイベスト奨学金	【第1回】 6月1日～9月30日 【第2回】 10月1日～2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日～5月31日
直接 応募型	(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	大学院生(在学) 月額 5万, 8万, 10万円 学部生 月額 4万, 5万, 6万円 (うち2万円給付)	貸与 (無利子)	20名 300名	財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会 提出期限の10日前までに大学に推薦書の作成を依頼すること	2024.10.31 (1次募集)8.31 (2次募集)1.31

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 ： 2026年1月31日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新(差替え)時 まで)